

国立民族学博物館 友の会ニュース

MINPAKU ASSOCIATES NEWSLETTER

No. 257
2020.5

「国立民族学博物館友の会」は「みんぱく（国立民族学博物館）」の活動を支援し、博物館を楽しく、積極的に活用するためにつくられました。

発行日 2020 年 5 月 1 日
編集・発行 一般財団法人千里文化財団

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う対応のお知らせ

会員のみなさまへの対応

臨時休館期間相当分の フリーパスをお届けします

ご入館いただけない状況が続いていることを踏まえ、臨時休館期間相当分のフリーパス（入館証）のお届けを予定しております。お手続き方法等詳細は、博物館再開の見通しがたった時点で、改めてご案内いたします。

対象となる会員種別

維持会員、正会員、家族会員、ミュージアム会員

※有効期限内に、臨時休館期間が含まれている方が対象となります。
※「みんぱくフリーパス」をご利用の方には別途ご案内いたします。

お詫び

『月刊みんぱく』5月号 P13 でご案内しております、下記予定は諸般の事情により中止いたします。予定がたちましたら、改めて「友の会ニュース」等にてご案内いたします。

動画配信（5月配信予定）

「イギリスとオーストラリアをつなぐ風」 → 延期

新型コロナウイルス感染症に罹患された方、関係者のみなさまに心からお見舞いを申しあげます。

国立民族学博物館（みんぱく）は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、五月六日（水・振替）まで臨時休館しております。五月七日（木）以降につきましては決まり次第、みんぱくホームページに掲載予定ですのでご確認ください。

同様に、国立民族学博物館友の会の催しも当面のあいだ、中止もしくは延期いたします。ご入館いただけない状況につきましては、友の会会員のみなさまに、左記の対応を予定しております。博物館再開の見通しがたちましたら、改めてご案内いたします。

なお、外出自粛の要請に伴い、お電話が繋がりにくくなる場合やお手続きにお時間をいただく場合がございます。何卒ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

一日も早い収束とみなさまのご健康を心からお祈り申し上げます。

イベントスケジュールの変更

みんぱくの展示

- *特別展「先住民の宝」→会期末定
- *梅棹忠夫生誕100年記念企画展「知的生産のフロンティア」→会期末定

みんぱくの催し

- *5月の催しはすべて中止または延期いたします。
- *6/21（日）音楽の祭日2020in みんぱく → 中止

みんぱく資料の館外展示

- *特別展「驚異と怪異—モンスターたちは告げる—」
- 【会場：兵庫県立歴史博物館】→会期末定

※最新情報は兵庫県立歴史博物館のホームページをご確認ください。

2020年4月20日時点で決定している内容です。臨時休館期間中に予定していた展示や催しに追加情報が生じた場合は、決まり次第掲載します。みんぱくならびに友の会のホームページをご確認ください。

友の会の催し

- *5/9（土）友の会講演会
梅棹忠夫生誕100年記念対談
「知的生産のフロンティアの原点
——探検家 梅棹忠夫を語る」→延期
- *6/6（土）友の会講演会
「アヌコロ アイヌ イコロマケル
——新国立博物館の挑戦」→延期
- *6/13（土）東京講演会【会場：モンベル御徒町店】
「出会いの堆積としてのスワヒリ世界、その歴史と文化」→延期
- *体験セミナー
70年万博50周年記念 万博記念公園内施設見学 → 中止
国立アイヌ民族博物館 訪問 → 次年度に延期
- *民族学研修の旅
「インド洋交易の拠点、ザンジバル島とキルワ島を歩く」
→ 次年度に延期

おうちでも楽しい！ みんぱく！
おうちでみんぱく

ご自宅でもみんぱくを楽しんでいただくためのサイト「おうちでみんぱく」をみんぱくホームページ内で公開中です。博物館が再開しましたら、ぜひ実際の資料を見にご来館ください！

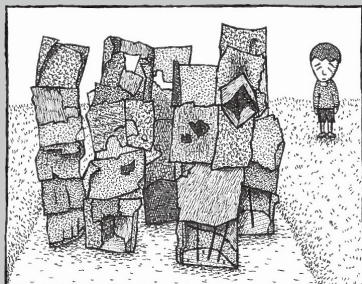
<https://www.minpaku.ac.jp/museum/news/ouchi>



エル・アナツイは、みんなくの特
別展(2010年秋)でも紹介され
たことのあるナイジェリア在住の
アーティスト。万博記念公園にも
作品があります。

ぼくのみんぱく日記

画・中川洋典



三月八日(日)
みんなく横ニ
エル・アナツイ
作品がアリ
マスヨ。
地面ニシッカ
リト立ッテ
イマスヨ。

告知

第498回 友の会講演会

植物と人の関わり

——タケ科植物、ヤシ科植物の道具利用を中心に

講師：上羽 陽子(民博准教授)

日時：7月4日(土) 13:30~14:40

会場：本館2階 第5セミナー室

人類は植物を利用して、シェルター、狩猟具、運搬具、結束具などをどのように作りだしてきたのでしょうか。本講演では、インド北東部アッサム地域とインドネシア、ティモール島西部のタケ科植物とヤシ科植物の採集・加工・利用の事例から、道具資源としての植物利用について紹介します。現在の民族誌調査から、人類がどのようなものづくりをしてきたか、植物利用の実態に迫ります。

※友の会会員 無料(会員証提示)、一般 500円

※講演会終了後、講師を囲んで懇談会をおこないます(40分)。

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、急遽予定を変更する場合がございます。
最新情報は、友の会のホームページをご確認ください。

東京講演会 実施報告

■第128回■1月25日(土)

会場：モンベル御徒町店4Fサロンの

消滅の危機に瀕した言語

吉岡 乾(民博准教授)

今回の講演では、消滅の危機に瀕している言語に関して、多角的に紹介するとともに、その事態に関して研究者は、当該言語の話者は、第三者は、どう向き合っていくべきであるのかということ、時間を最大限に使って、考えました。

昨今、良くも悪くも、消滅の危機に瀕している言語や方言に関して、警鐘を鳴らす人(主に研究者)が増えて来ています。それは、生物を引き合いにして多様性の保全に託けた、言語の背景にある文化をも喪失することを懸念したり、グローバル化をネタに恐怖心を植えつつ英語偏重の教育を強行することへの抵抗だったりと、多種多様な動機で訴えかけてきているものです。けれどもそこに、その危機言語の話者たち自身の心理はちゃんと汲まれているのでしょうか。

一方、当事者以外がその状況を捉えるのは難しいという声もあるかと思えます。危機言語の問題にまつわる一側面として、多数派による少数派の軽視という要因があります。例



カラージャ語には「2歳以上の牡ヤギ」という単語がある(パキスタン)

えばそういった側面があることを理解し、第三者が他人事ではなく、少しでも親身になって考えていく必要があるからです。誰にとっても、言語以外の局面で、自分が何等かの少数派に分類される事態があるのだというのを、少しでも想像力を膨らませれば理解できるのではないのでしょうか。そしてそこから発展して、改めて世の中の言語について、自分事として気に留めていっていただければ幸いに思うのです、という話をしました。

お問い合わせ、お申し込みはこちら

友の会はいつでも、どなたでもご入会いただけます。

国立民族学博物館友の会

一般財団法人 千里文化財団

〒565-8511

大阪府吹田市千里万博公園10-1(国立民族学博物館3階)

電話：06-6877-8893(平日9:00~17:00)

FAX：06-6878-3716

e-mail：minpakutomo@senri-f.or.jp

国立民族学博物館 最新情報



ホームページ

<https://www.minpaku.ac.jp>



Facebook

<https://www.facebook.com/MINPAKU.official>

国立民族学博物館友の会 最新情報



ホームページ

https://www.senri-f.or.jp/minpaku_associates/



Facebook

<https://www.facebook.com/minpakutomo/>